

工 事 名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備3期）工事

質 問 回 答 書

質 問 回 答 書

工 事 名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備3期）工事

質問 No.	図面番号	質 問	回 答
1	特－1 1章 一般共 通事項 (1.3.3)電 気保安技術者	表内のいずれかの資格を有する、電気保安技術者を選任するとあります。 これについては、元請あるいは下請負業者の中から選任すれば良いのでしょうか？ また、実務として発電機の定期点検や設置・撤去時に来場すると理解してよいのでしょうか？ ご教授願います。	電気保安技術者については、元請負者又は下請負者にて選任願います。また、選任された電気保安技術者は、設置した設備の定期点検や現場状況に応じて現場に来場するものとします。
2	特－1 1章 一般共 通事項 (1.3.11)発 生材の処理等	再資源化を図るものに①発生土、②コンクリート塊、③アスファルト塊が記載されています。 その他として撤去する塩ビ管が発生しますが、これについての処分方法（再資源化の有無）に指定がありましたらご教授願います。	撤去する塩ビ管については、再資源化の指定はありません。また、産業廃棄物として適切に処分するものとします。
3	特－1 1章 一般共 通事項 (1.3.11)発 生材の処理等	③仮置き等は工事用地内とする。とあります。 図A-1の本工事範囲のことを指すと理解してよいのでしょうか？ あるいは校内敷地内に仮置き場として使用できる場所があるのでしょうか？ 仮置き場には、残土・As殻・Con殻・撤去した塩ビ管を仮置きできますか？ ご教授願います。	「③仮置き等は工事用地内」とは、現場説明書別図に記載の「工事用地」を示しています。なお、本工事用地へ仮置きするものについては、残土、アスファルト殻、コンクリート殻および撤去した塩ビ管を想定しています。
4		工事で使用する建設機械・資機材の搬入搬出および、残土・産廃の搬出時におきまして 大型車両の場内通行は可能でしょうか？ 或いは4t車までの進入に限定されていますか？ ご教授願います。	現場内にて使用するダンプトラックの種別については、4t車を想定しています。なお、筑紫キャンパス内に一般の通勤車等を除く大型車両や重機等を搬入・搬出する際は、交通量が多い時間帯（午前8時～9時30分、午後4時～5時）を避けた工事計画として下さい。
5	特－2 3章 仮設工	(3.1.2)施工一般 (2)①各種インフラ設備の埋設確認のため試掘を実施する事が明記されています。 試掘を行った場合、変更として計上されますか？ ご教授願います。	試掘については、各種インフラ設備の埋設状況を確認するために必要な作業であり、工事施工上必要なものとして、原則変更の対象とはしません。
6	特－3 工事数量表 01 仮設工	締切排水工（水替工）につきまして 汲み上げた水の排水は、濁水でない場合下流側の管に直接流しても構わないのでしょうか？ 或いは、濁水処理設備を設置しなければならない場合、掛かる費用は変更で計上されますか？ ご教授願います。	締切排水工（水替工）により汲み上げた水については、濁水かどうかを確認した上で、下流側の管へ排水してください。 なお、施工状況により濁水が発生した場合は、現場説明書「5 施工に関する事項」 「(2)仮設物の設置等 ③その他」に記載のとおり、「沈砂槽などで処理したうえで、放流先の水質基準関係法令に適合していることを確認後放流すること。」とし、工事費については、受注者・発注者間での協議の上、変更対象事項であるか判断します。
7	特－3 工事数量表 01 仮設工	C-11図面に路面覆工標準図がありますが、工事数量表に数量の表記がありません。 排水工において根切り→既設管撤去→管布設→埋戻し→舗装仮復旧の工程が、1日で完了するのが難しいため保安施設を施し17:00以降は車両通行止め或いは片側交互通行での開放で宜しいのでしょうか？ ご教授願います。	よろしいです。

質 問 回 答 書

工 事 名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備3期）工事

質問 No.	図面番号	質 問	回 答
8	特-3 工事数量表 01 仮設工	上記7におきまして施工箇所を夜間開放して車両通行可とする場合、路面覆工を要します。 その場合、路面覆工に掛かる費用は変更で計上可能となりますか？ ご教授願います。	質問No.7のとおり17時以降は、原則として車両通行止め若しくは片側交互通行としますので、路面覆工は必要ないものと考えております。 なお、施工上路面覆工が必要となる場合、工事費について受注者・発注者間での協議の上、変更対象事項であるか判断します。
9	特-3 工事数量表 02 土工	(1)土工：残土量 550m ³ とあります。 これにつきまして運搬費が計上されていませんが、掛かる費用を変更で計上していただけますか？ ご教授願います。	残土量 550m ³ については、運搬費と処分費を含めた「不用土処分（土砂） 290m ³ 」及び「不用土処分（路盤） 730m ³ 」として計上して下さい。
10	特-3 工事数量表 03 舗装工	(1)車道舗装：アスファルト舗装工 2050m ² とあります。 考え方として、車道全面（仮復旧工部含む）に対する数量と考えて宜しいのでしょうか？ また(3)広場・歩道舗装に関しましても同様に考えて宜しいのでしょうか？ ご教授願います。	よろしいです。
11	特-3 工事数量表 05 施設補修工	管渠撤去工：硬質塩化ビニル管（VP）135mとあります。 撤去後の塩ビ管の運搬・処理費が計上されていませんが、変更で計上できますか？ ご教授願います。	「廃棄材運搬（廃プラ） 1m ³ 」及び「廃棄材処分（廃プラ） 1m ³ 」の項目を計上願います。
12	特-3 工事数量表 06 植栽工	植栽新設工：中木1本とあります。 上記におきまして枯れ保障は必要ありますか？ ご教授願います。	植栽新設工は、枯れ保証を含むものとします。
13		経費条件について ・工種区分 <u>下水道工事（2）</u> ・現場環境改善（率分）率分計上 <u>計上しない</u> ・現場環境改善（率分）補正 <u>「施工地域・工事場所による補正」</u> ・施工地域区分 <u>市街地（DID補正）</u> ・技術者間接費率（電気通信） <u>直流電源装置</u> 上記で考えていますが、訂正があればご教授願います。	共通仮設費及び現場管理費の算定に係る工種区分は下水道工事（2）です。また、現場環境改善費については対象外とします。 施工地域を考慮した共通仮設費率及び現場管理費率の補正についての地域補正の適用はないものとします。技術者間接費率（電気通信）については、計上しないものとします。
		－ 以 上 －	

工 事 名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備3期）工事

指 示 書

指 示 書

工事名：九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備3期）工事

[illegible]

(2 章 材料)				(4 章 土工)																
(2. 2. 1) 盛土・埋戻土	本工事に使用する土は、次による。			(2. 9. 2) 設計基準強度	本工事に使用するコンクリートの設計基準強度等は、次による。			(2. 13. 1) インターロッキング	本工事に使用するインターロッキングブロックは、次による。			(4. 1. 4) 土及び岩の分類	現状の土質は、下記による。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	副管防護コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	工 種	土 質	備 考	
	発生土 購入土	砂質土 真砂土	全ての埋戻し 全ての埋戻し			十分に締め固めが 得られるものとする	インパートコンクリート		最大骨材寸法 25mm 混和剤 (2. 8. 3) による	スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種		単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下					車道舗装工、歩道舗装工、 車道付属施設施工、歩道付属施設工	砂質土	
(2. 3. 7) 基礎材料等	本工事に使用する基礎材料等は、次による。			(2. 15. 3) 芝	均しコンクリート			(2. 16. 1) セメントコンクリート 舗装版用目地材	本工事に使用する芝は、次による。			(4. 1. 7) 採取場及び建設発生土の受入れ地等	建設発生土の受け入れ地→ 福岡市東区東浜2-24-1 福岡建材(株) 092-871-6358							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 基礎コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	伐開除根	(1) 処理方法は、場外搬出処理とし、搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 (2) 受入場所 (福岡市東区蒲田1丁目22番6号 (運搬距離30km以内)) (3) 受入場所 ((株) 坂本工業 蒲田処理センター 092-691-2530) (4) 受入寸法 (最大寸法 1000mm以下) (5) 処理後は、速やかに搬出方法、搬出量等を記した搬出調書を作成し、監督職員に提出する。		
	再生ガラシャラン 砂	RC-40 粒径5～0mm粗目	舗装工、排水工、 排水工		基礎工	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下			野芝 野芝	総芝張 総芝張	平面芝張工 法面芝張工				
(2. 3. 8) 粒状路盤用材料	本工事に使用する粒状路盤用材料は、次による。			(2. 16. 3) 区画線	水路沿い コンクリートたたき			(2. 16. 4) タイル	路面舗装色は監督職員との協議により決定する。 路面表示の文字の標示内容は監督職員との協議により決定する。			(4. 2) 路床安定処理工	路床安定処理工は、次による。 (1) 安定剤は、セメント系とする。 (2) 設計CBRは、40% (合成CBR) とする。 (3) 配合量は、割増しを含み0. 043t/m2とする。ただし、施工に先立ち配合試験により決定するものとする。 (4) 混合深さは、施工基面から130. 200mm以上 (ラップ幅100mm以上) とする。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考				
	再生ガラシャラン 再生粒度調整砕石	RC-40 RM-25	舗装工 舗装工		下層路盤 上層路盤															
(2. 4. 1) 材料一般	本工事に使用する軟弱地盤改良に使用する安定剤は、次による。			(2. 16. 5) 合成樹脂製品	その他の材料			(2. 16. 6) 安 定 シ ー ト ・透 水 シ ー ト	本工事に使用する安定シート・透水シートは次による。			(9. 4. 3) 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	硬質塩化ビニル管の継手方法は、 ゴム輪型継手とする。 管とマンホールの継手方法は、可とうゴム継手とする。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		区画線 路面標示	JIS K 5665 JIS K 5665	区画線設置工 区画線設置工					
	ｶﾞﾙﾄﾗﾝﾄﾞ ｾﾐﾝﾄ	普通ｶﾞﾙﾄﾗﾝﾄﾞ ｾﾐﾝﾄ	舗装工		路床安定処理															
(2. 6. 3) 鉄筋コンクリート用棒鋼	本工事に使用する鉄筋コンクリート用棒鋼は、次による。			(2. 10. 2) セメントコンクリート製品	本工事に使用するセメントコンクリート製品 (JIS規格品) は、次による。			(2. 11. 2) 舗装用石油 アスファルト	本工事に使用するセメントコンクリート製品 (JIS規格品以外) は、次による。			(2. 8. 2) セメント	本工事に使用するセメントは次による。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考 (JIS規格品)	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考
(2. 6. 6) 銅管	本工事に使用する銅管は、次による。			(2. 10. 3) セメントコンクリート製品 (JIS規格品以外)	本工事に使用するセメントコンクリート製品 (JIS規格品以外) は、次による。			(2. 12. 1) アスファルト 混合物	本工事に使用するアスファルト混合物は、次による。			(2. 8. 3) 混和材料	本工事に使用する混和材料は次による。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考
	硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VB φ250	水路横断部復旧工																	
(2. 6. 7) 鍛鋼品・鋳鋼品 及び鋳鉄品	本工事に使用する鍛製品・鋳鋼品及び鋳鉄品は、次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 8. 3) 混和材料	本工事に使用する混和材料は次による。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考
	グレーチング (ボルト、鎖付き)	集水柵 500×500 L型集水柵 340×360 PU側溝 300	排水工		溶融亜鉛メッキ製															
(2. 6. 9) 金網	本工事に使用する金網は、次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 8. 3) 混和材料	本工事に使用する混和材料は次による。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考
(2. 8. 2) セメント	本工事に使用するセメントは次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 8. 3) 混和材料	本工事に使用する混和材料は次による。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考
	ｶﾞﾙﾄﾗﾝﾄﾞ ｾﾐﾝﾄ	普通ｶﾞﾙﾄﾗﾝﾄﾞ ｾﾐﾝﾄ	モルタル工																	
(2. 8. 3) 混和材料	本工事に使用する混和材料は次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 12. 2) 再生アスファルト 混合物	本工事に使用する再生アスファルト混合物は、次による。			(2. 8. 3) 混和材料	本工事に使用する混和材料は次による。							
	材料名	規格・寸法等	使用工程		備 考	コンクリートブロック積 隅込・裏込コンクリート	最大骨材寸法 40mm 混和剤 (2. 8. 3) による		スランプ 8cm 設計基準強度 18N	水セメント比 60%以下 セメントの種類 高炉セメントB種	単位セメント量 270kg/m3 塩化物含有量 0. 3kg/m3以下		材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考	材料名	規格・寸法等	使用工程	備 考
※赤文字は変更箇所を示す																				

工事数量表

	名 称	摘 要	数 量	単位	備 考		名 称	摘 要	数 量	単位	備 考		名 称	摘 要	数 量	単位	備 考
I	排水設備工事	屋間工事				(2)	土工						管渠撤去工	ヒューム管(HP)φ200	62	m	
01	仮設工						根切り(床掘り)	レキ質土	1	m3			管渠撤去工	ヒューム管(HP)φ250	275	m	
	締切排水工(水替工)		45	日			根切り(床掘り)	砂質土	5	m3			管渠撤去工	ヒューム管(HP)φ300	225	m	
	仮土留工	軽量鋼矢板土留工 H=4.0m以下	1	式			埋戻工	発生土(上部)	5	m3			管渠撤去工	ヒューム管(HP)φ400	54	m	
	仮土留工	軽量金属支保工 1～3段	1	式		(3)	法面保護						管渠撤去工	ヒューム管(HP)φ500	195	m	
	交通誘導員		380	人			コンクリートブロック積工	H=1.55m 400×250×350(割石)	5	m2			管渠撤去工	硬質塩化ビニル管(VP)	135	m	
02	土工					05 04	排水工						管渠撤去工	硬質塩化ビニル管(VP)φ150	115	m	
(1)	土工					(1)	雨水						管渠撤去工	硬質塩化ビニル管(VP)φ200	9	m	
	根切り(床掘り)	砂質土	2700 3000	m3			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150mm	58	m			管渠撤去工	硬質塩化ビニル管(VP)φ250	5	m	
	掘削	レキ質土	730	m3			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径200mm	40	m			管渠撤去工	硬質塩化ビニル管(VP)φ300	6	m	
	埋戻工	発生土(上部)	450	m3			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径350mm	29	m			管渠撤去工	鋼管(SP)φ250	5	m	
	埋戻工	発生土(保護部)	1700	m3			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径400mm	13	m			管渠撤去工	鋼管(SP)φ300	4	m	
	路床安定処理工	厚30cm	1350	m2			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径450mm	55	m			廃棄材運搬	アスファルト敷	173	m3	
	砂基礎工		110	m3			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径600mm	37	m			廃棄材運搬	鉄筋コンクリート	93	m3	
	残土量		550	m3			管渠工	強化プラスチック複合管(FRP) 管径700mm	168	m			廃棄材運搬	無筋コンクリート	96	m3	
	不用土処分	土砂	290	m3			管渠工	強化プラスチック複合管(FRP) 管径700mm×45°曲管	1	箇所			廃棄材運搬	廃プラ	1	m3	
	不用土処分	路盤	730	m3			(2)	汚水					廃棄材運搬	鉄	6.5	t	
03	舗装工						管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150mm	390	m			廃棄材処分	アスファルト敷	173	m3	
(1)	車道舗装					(3)	実験排水						廃棄材処分	鉄筋コンクリート	93	m3	
	アスファルト舗装工	上層路盤厚15cm 舗装厚5cm	2050	m2			管渠工	硬質塩化ビニル管(VU) 管径150mm	268	m			廃棄材処分	無筋コンクリート	93	m3	
	アスファルト舗装工	上層路盤厚15cm 下層路盤厚20cm 舗装厚5cm	2050	m2		(4)	斜・人孔						廃棄材処分	廃プラ	1	m3	
	アスファルト仮復旧工	舗装厚20cm	1350	m2			プレキャストマンホール工	組立マンホール0号 深さ2m以下	2	箇所			廃棄材処分	鉄	6.5	t	
	アスファルト仮復旧工	上層路盤厚15cm 下層路盤厚20cm 舗装厚5cm	1350	m2			プレキャストマンホール工	組立マンホール1号 深さ3m以下	10	箇所	07 06	植栽工					
(2)	車道付属施設						プレキャストマンホール工	組立マンホール2号 深さ4m以下	3	箇所		植栽撤去工	高木撤去工	32	本		
	緑石工	歩車道境界ブロック 150/170×200×600	52	m			プレキャストマンホール工	組立マンホール3号 深さ4m以下	5	箇所		植栽撤去工	高木撤去工 幹回60cm未満	2	本		
	緑石工	地先境界ブロック 120×120×600	54	m			小型マンホール工	硬質塩化ビニル製 深さ2m以下	4	箇所		植栽撤去工	高木撤去工 幹回60cm以上75cm未満	3	本		
	区画線設置工	消通式区画線 W=150 実線 黄色 中心線	230	m			マンホール副管取付け工	内径100～300mm 段差1.0m未満	3	箇所		植栽撤去工	高木撤去工 幹回75cm以上	27	本		
	区画線設置工	消通式区画線 W=150 実線 白色 路面標示	9	m			小口径汚水斜	500×500×500 塩ビ製小口径汚水斜150×150	2	箇所		植栽撤去工	中木撤去工	2	本		
	区画線設置工	消通式区画線 W=450 実線 白色 停止線、横断線	3	m			ます工	硬質塩化ビニル製 径200mm	11	箇所		植栽撤去工	低木撤去工	3	本		
(3)	広場・歩道舗装						ます工	コンクリート製 径450mm	15	箇所			廃棄材運搬	木材	67	m3	
	歩道アスファルト舗装工	路盤厚10cm 舗装厚3cm	126	m2			取付管布設工及び支管取付工	硬質塩化ビニル製 径150mm	35	箇所			廃棄材処分	木材	67	m3	
	歩道アスファルト仮復旧工	舗装厚13cm	3	m2		(5)	水路横断部復旧工					植栽撤去・新設工	低木	4	本	アベリア(H=0.8m,W=0.6m)	
	歩道アスファルト仮復旧工	路盤厚10cm 舗装厚3cm	3	m2			水路横断部復旧工(汚水)	500×500×500 塩ビ製小口径汚水斜150×150	1	箇所		植栽工	中木 樹高60cm以上100cm未満	3	本	アベリア(H=0.8m,W=0.6m)	
(4)	広場・歩道付属施設						水路横断部復旧工(実験排水)	500×500×500 塩ビ製小口径汚水斜150×150	1	箇所		植栽新設工	中木	1	本	サクラ(H=3.0m)	
	L型側溝工	歩車道境界ブロック 180/205×250×600	129	m		06 05	施設補修工					植栽工	中木 樹高200cm以上300cm未満	1	本	サクラ(H=3.0m)	
	L型側溝工	L型側溝 300	292	m			舗装切断工	車道アスファルト舗装 切断深5cm	3460	m			平面張芝工	野芝	900	m2	
	U型側溝工	PU-300 300×300×2000	50	m			舗装切断工	歩道アスファルト舗装 切断深3cm	19	m			法面張芝工	野芝	4	m2	
	集水斜工	歩車道境界ブロック 180/205×250×600	6	箇所			舗装版破砕工	車道アスファルト舗装 切断深5cm	3400	m2			防草シート工		57	m2	
	集水斜工	緑石ブロック 120×150×600	17	箇所			舗装版破砕工	歩道アスファルト舗装 切断深3cm	126	m2							
	集水斜工	現場打 500×500×550	2	箇所			構造物とりこわし工	鉄筋構造物	81	m3							
04 05	法面保護工						構造物とりこわし工	無筋構造物	99	m3							
(1)	仮設工						構造物とりこわし工	マンホール蓋	64	枚							
	交通誘導員		4	人			管渠撤去工	ヒューム管	1060	m							
							管渠撤去工	ヒューム管(HP)φ150	249	m							

※赤字は変更箇所を示す

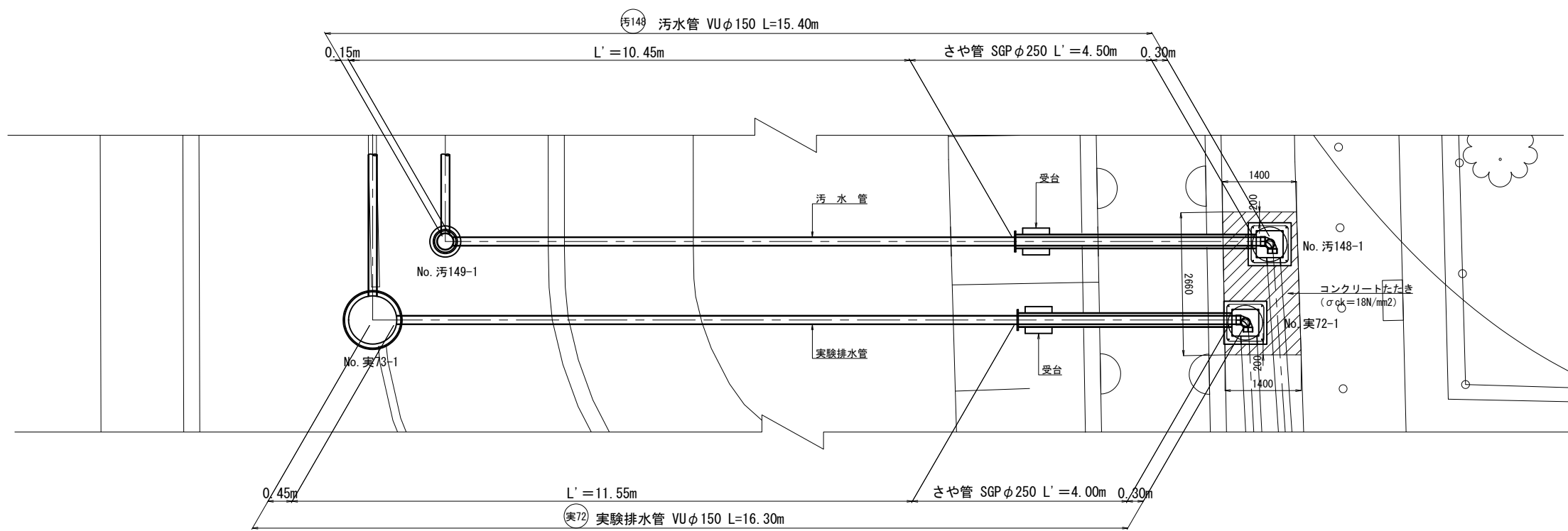
九州大学施設部

工事名九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備3期）工事
図面名工事数量表

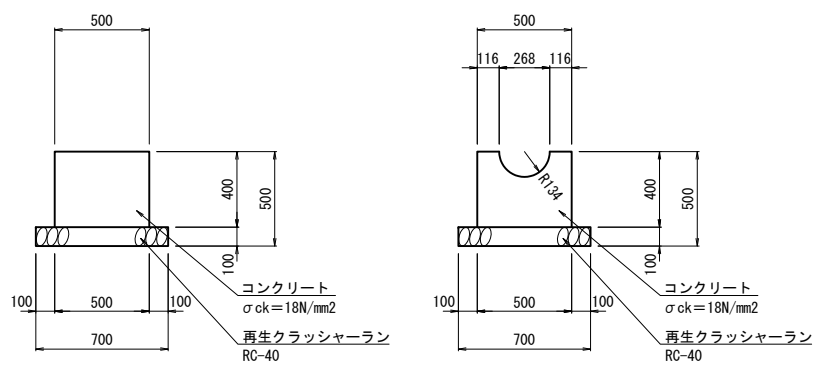
縮尺—
日付R8.7
図面番号
特—3

水路横断部撤去・復旧図

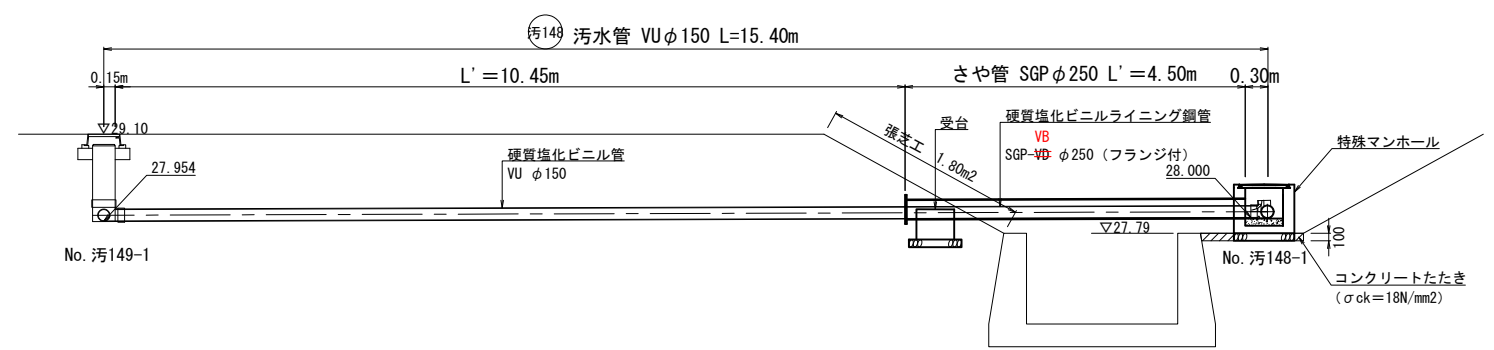
平面図 S=1:50



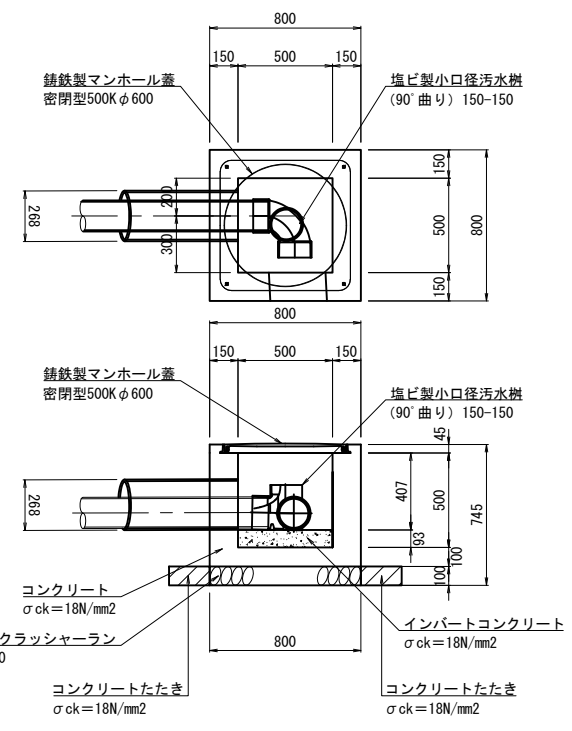
受台 S=1:20



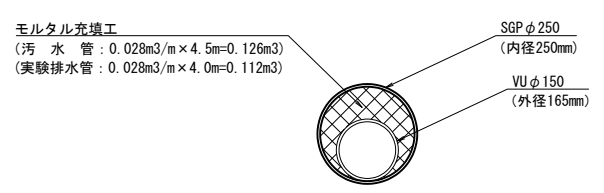
汚水管 S=1:50



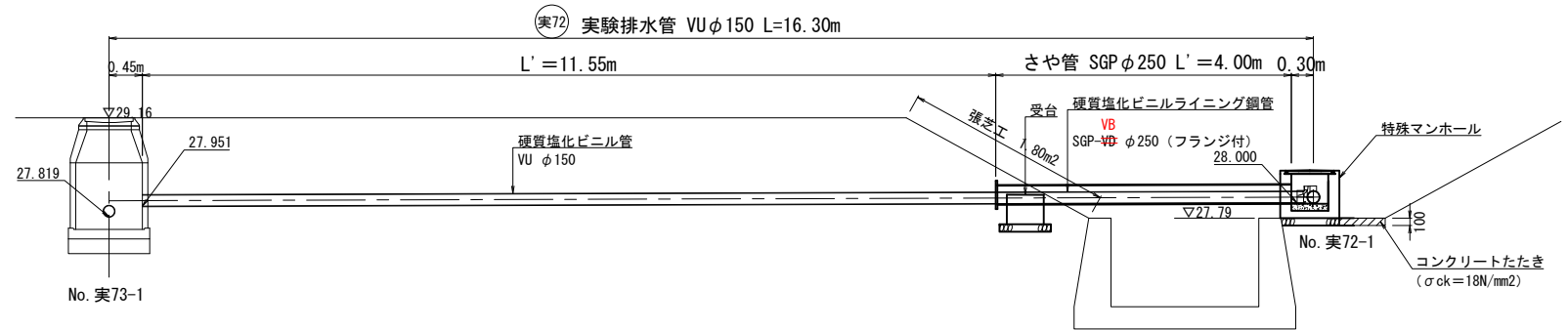
小口径汚水樹 S=1:20



モルタル充填 S=1:10



実験排水管 S=1:50



注1) インフラ付近の掘削は、監督職員立会のもと行う。
注2) 管布設時は、試掘等で地下埋設物を確認後、掘削を行うこと。
注3) 掘削時は、必要に応じて地下埋設物に吊り受け防護を行うこと。

※赤字は変更箇所を示す

九州大学施設部

工事名 九州大学（筑紫）基幹・環境整備（排水設備3期）工事
図面名 水路横断部撤去・復旧図

縮尺 1:50
日付 R8.7
図面番号 C-18